

# かしま 議会だより

第74号

平成25年9月議会号

平成25年10月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



9月定例会	p2～p3
議案審議・討論・特別委員会報告	p4～p7
一般質問	p8～p12
意見書	p13
議会報告会	p14～p15
議会あれこれ・編集後記	p16

運行を開始したJR九州の豪華寝台列車「ななつ星」  
(10月26日昼頃、肥前浜駅に列車通過待ちで停車した「ななつ星」)

九月定例会

平成25年 鹿島市議会  
9月定例会会期日程

1、会期  
自 平成25年9月6日  
至 平成25年9月27日  
2、日程

【9月】

- 6日開会  
会議録署名議員の指名  
会期の決定  
議案の一括上程  
(市長の提案理由説明)
- 7日休会
- 8日休会
- 9日休会(議案研究)  
発言内容通告締切  
(正午)
- 10日休会(議案研究)
- 11日休会(議案研究)
- 12日議案審議
- 13日議案審議
- 14日休会
- 15日休会
- 16日休会
- 17日決算審査特別委員会  
(水道現地調査)
- 18日決算審査特別委員会  
(水道事業会計)
- 19日常任委員会  
(議案)
- 20日一般質問(3名)
- 21日休会
- 22日休会

議案

- 23日休会
- 24日一般質問(3名)
- 25日一般質問(3名)
- 26日休会
- 27日委員長報告議案審議  
質疑討論採決  
閉会

市長提案議案等

- (1) 報告第6号 平成24年度鹿島市土地開発公社決算について
- (2) 報告第7号 平成24年度鹿島市一般会計継続費精算報告書について
- (3) 議案第42号 平成24年度鹿島市水道事業会計剰余金の処分について
- (4) 議案第43号 平成24年度鹿島市水道事業会計決算認定について
- (5) 議案第44号 鹿島市子ども子育て会議条例の制定について
- (6) 議案第45号 鹿島市職員給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例について
- (7) 議案第46号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について
- (8) 議案第47号 平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

- (9) 議案第48号 平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
- (10) 議案第49号 市道の路線認定について
- (11) 議案第50号 市道の路線認定について
- (12) 議案第51号 市道の路線認定について
- (13) 議案第52号 市道の路線認定について
- (14) 議案第53号 市道の路線認定について
- (15) 議案第54号 市道の路線変更について
- (16) 議案第55号 市道の路線変更について
- (17) 議案第56号 市道の路線変更について
- (18) 議案第57号 市道の路線変更について
- (19) 議案第58号 財産の取得について
- (20) 議案第59号 平成24年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
- (21) 議案第60号 平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- (22) 議案第61号 平成24年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について

- (23) 議案第62号 平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- (24) 議案第63号 平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- (25) 議案第64号 平成24年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
- (26) 議案第65号 鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- (27) 議案第66号 鹿島市教育委員会委員の任命について
- (1) 議員提出議案等  
意見書第4号 地方税財源の充実確保を求める意見書(案)

次のことを審議し決定しました

【9月定例会】

議案番号	議案内容	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	竹下勇	角田一美	伊東茂	光武学	徳村博紀	福井正	水頭喜弘	橋爪敏	中西裕司	松尾征子	松本末治	松尾勝利	採決結果
議案第42号	平成24年度鹿島市水道事業会計剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第43号	平成24年度鹿島市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 認定
議案第44号	鹿島市子ども・子育て会議条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第45号	鹿島市職員給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第46号	平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第47号	平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第48号	平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第49号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第50号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第51号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第52号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第53号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第54号	市道の路線変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第55号	市道の路線変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第56号	市道の路線変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第57号	市道の路線変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決
議案第58号	財産の取得について	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	議長 賛成多数 可決	
議案第59号	平成24年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第60号	平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第61号	平成24年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第62号	平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第63号	平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第64号	平成24年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会を設置し付託															継続審査
議案第65号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 同意
議案第66号	鹿島市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 同意
意見書第4号	地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

# 議案審議

議案第46号

## 平成25年度鹿島市一般会計補正予算について



稲富雅和議員

**質問** 定住促進住宅管理事業で1・2棟80個の水道メーター取り替えの経緯と残り1棟である40個はいつ取り換えになっているのかお聞きする。期間が決まっているものはいいが、公園を含む維持管理を市が管

理するのはいいが、業務委託などで管理する計画はないのかお聞きする。

**答弁** 計量法施行令18条で有効期間が8年になっていて、残りの1棟は、H29年になっている。

指定管理の検討もあるが、まずは定住促進住宅は熟知したので当面は職員で管理をしていきたい。

議案第49号、57号

## 国・県道から市道への移管について



角田一美議員

**質問1** 207号バイパス開通に伴う国県道の市道への移管協議で懸案となっていた事項はどの程度解決するのか。

**答弁** 泉通交差点しめこ橋間の歩道整備、横田公民館前広瀬橋間の歩道整備は覚書協定により整備終了時点で市道として供用開始する。駅前中川橋の歩

道、大村方交差点改良、西葉母ヶ浦間の改良、七浦海岸の消破ブロック設置等は何らかの形で25年度予算に計上されている。

**質問2** 10年間に及ぶ移管協議で遅れている道路整備は今後どの程度見込まれるか。

**答弁** 今後10年間で概算事業費で約73億円の公共事業が見込まれ道路整備が進む。



議案第58号

## 公的施設のピオ入居は反対



松尾 征子議員

**質問** アスベストを軽視している。鑑定書を最初に手にした人は。

**答弁** 私です。(企画課参事)

**質問** 最初に目についたのは。

**答弁** まず数字、付記事項。

**質問** アスベストをキヤッチしてまずどうしたか。

**答弁** 早速に確認するため協同組合へ。検査済みで何もなかったということ。(上司等へ報告なし)

**質問** その後どうしたか。

**答弁** ピオが調査の結果何もないということだったので後にもしなかった。

**質問** どこを確かめたのか。現物の確認はど。

**答弁** 場所は北口荷物搬入口天井吹きつけ。



議案第58号

## 財産の取得について



松本末治議員

**質問1** アスベスト混入板の件が焦点になっている

が、先日の全員協議会、又今日の答弁でもアスベスト混入材は全て改修時に適切に撤去する、経費はシヨピングセンター協同組合が負担する約束を結ばれたと聞いたが。

**質問2** 不動産鑑定業務に於いて、鑑定士4名で評価され番入札額の安かった業者が落札後、随意契約で追加業務の件についてどうなっているか。

**答弁** そのとおり。

**答弁** 土地建物3・4階部分であったがエレベーター共用部分地下1階2階の鑑定が必要となつたため。

議案第57号

## 市道、多良岳横断道路かぶり枝対策について



橋爪敏議員

**質問** 「市道多良岳バイロット横断道路(七浦横断線、

土穴く上古枝線の約50%に枝がかぶっている。大ぶりの枝の採伐ができないのか。

土穴く上古枝線の約50%に枝がかぶっている。大ぶりの枝の採伐ができないのか。

土穴く上古枝線の約50%に枝がかぶっている。大ぶりの枝の採伐ができないのか。

土穴く上古枝線の約50%に枝がかぶっている。大ぶりの枝の採伐ができないのか。

土穴く上古枝線の約50%に枝がかぶっている。大ぶりの枝の採伐ができないのか。

議案第58号

## 財産の取得について



中村一堯議員

**質問** 鹿島市が鑑定を委託した業者は国土交通大臣の登録を受けておらず、入札参加資格を持っていない。鹿島市の財務規則第121条によれば「参加する資格のないもの」が入札に参加した場合、入札は無効になるという規定がある。

本規則が守らなければ、入札参加資格がないものがある。入札に参加し、制度そのものが破綻する。鹿島市だけの問題ではない。他市町村にも大きな影響を与えることになる。この入札は無効であり、契約も無効とするべきだがどうか。

**答弁** 事務の不振は申し訳ない。しかし、この契約は有効と考える。

議案第58号

## 財産の取得について



水頭喜弘議員

**質問** 6月21日議決後、24日には市は不動産鑑定評価書を受け取っているが、議会には8月23日の特別委員会に提出されている。アスベストが混入されている吹き付け材の問題はすでに解っていたのではないか。アスベストの調査についてピオ側の報

告ではなく取得する市の方が調査をすべきであり、第3者機関に依頼すべきではなかったか。このアスベストの問題については。

**答弁** 吹き付けアスベストということで驚いてピオに出向いた。そこで17年と23年にピオ側の方で調査され吹きつけアスベストはなかったと言ふことで安心していった。

議案第58号

## ピオの一部区分財産取得について



中西裕司議員

**質問** 反対の立場で質疑する。3・4階に子供高齢者の施設を作る事が反対。対案を検討もしない。大地と緑と風の中で育てるのが基本。不動産鑑定業者選定が不明。入札結果も通常でない。

**答弁** アスベストは市民の安全安心のためすべて処理する。手続は今後協議する。

**質問** 反対の立場で質疑する。3・4階に子供高齢者の施設を作る事が反対。対案を検討もしない。大地と緑と風の中で育てるのが基本。不動産鑑定業者選定が不明。入札結果も通常でない。

**答弁** アスベストは市民の安全安心のためすべて処理する。手続は今後協議する。

## 議案第58号 財産の取得について



伊東茂議員

**質問** ピオ3・4階、区分取得の算定基準となつている不動産評価書には疑問点が多すぎ信頼出来ない。

指名入札に参加出来ない非登録業者であることが発覚、行政の不手際を認めながらも取得価格1億4641万円は有効とする判断は納得出来ない。鑑定書の資料に記載されている竣工図も所在が不明の説明は、何を根拠に算定がなされたのか議案を審議する

議会を軽視し、説明責任が欠如している。

**答弁** 指名や契約は不適切だったが鑑定は資格を持った鑑定士が算定しており有効と考える。内部仕上げ表が竣工図と判断した。



## 議案第58号 財産の取得について



勝屋弘貞議員

**質問1** 他自治体でも既存ストックを利用した施設があるが、アスベストに関し

**質問** レベル3の資材を使っている所で問題になつている。このことは聞いたことがない。鹿島市では、法律を守るといっただけでなく、安全安心ということを中心に捉えて全面撤去で取り組む。

**質問2** 今回の中心市街地活性化は、第2第3の助成が期待できるのか。

**答弁** 鹿島市では今後他の街以上に社会的経済的、構造的な影響を受けるので、積極的に対応しなければ取り残される。国交省の事業は、うまくいった場合モデル的なケースになり得る。



議案審議

議案第58号  
財産の取得について



福井 正議員

質問 ピオの3階4階と土地を取得する計画であるが、国の負担は、国からの補助金交付の時期は、議案否決されたとしたら、国の補助がどうなるのか。市債借入の返済期間と利子負担の国の負担と市の負担割合はどうなるのか。ピオに対し経済産業省より1億の補助があるがどうなるのか。

答弁 国の補助は計画の2分の1補助である。市債の20%の国の補助がある。補助金交付の時期は、年度末の3月である。議案が否決されたとしたら、環境条件が整わず、先に進めなくなる。ピオへの補助もできなくなると思われる。

議案第58号  
賛成討論

福井 正議員

財産の取得について  
国のリノベーション事業は、中心市街地活性化のために、交通及び生活インフラが整備された中心市街地の既存の建造物等整備事業に補助を行う事業である。ピオの3階4階の建物、土地を取得し整備することは、国のリノベーション事業の対象となり、国の交付金が50%、市債借入の償還金の20%の補助があり市の実質負担は41%である。  
アスベストは、危険度が高いレベル1、レベル2のアスベスト等危険物は存在しなかった。市民交流プラザ整備は、子育て中の方、青少年、高齢者が集える施設であり、様々な事業展開ができる。

討論

議案第58号  
反対討論

松尾 征子議員

一部の満足でなくすべての人民が満足いく「まちづくり」を提案されている購入には反対する。3.6月議会で関連案件に反対してきた。  
①福祉施設を3.4階に入れること。  
②多額の税金を投入しても商店が活性化する保証はない等々の理由。  
その後、国交省へ届けをしていなかった業者に鑑定を依頼したこと。その鑑定書によれば人体に有害なアスベストの問題が発覚した。しかし市は業者については陳謝したものの、不当な鑑定ではないと、開き直り。アスベストについてはレベルが低いというので見直すことはしなかった。  
疑惑だらけの中での購入は絶対に許せない。

議案第58号  
反対討論

伊東 茂議員

財産の取得について  
公的施設をピオへ移転する計画の全貌が明らかになるにつれ、鹿島市民は疑問と不信感から計画中止の要望を求める声が強くなっている。30年経過した建物への過大投資、市民の声を無視した計画の進め方に到底納得がいかない。中心市街地の活性化の起爆剤になり地方都市のモデル的事業になると市民感情とは裏腹に「大義名文」をふりかざしゴリ押しにも程がある。  
子供達や孫に胸を張れる政策か考えて欲しい。  
子や孫にこれから30年間負担をさせる今回の議案には断固反対する。

議案第58号  
反対討論

中西 裕司議員

反対する。ピオの一部財産取得に。  
反対する。ピオの一部財産取得に。中心市街地の活性化になるとは思えない。別の手だてを考へべき。意見交換でピオの役員は自分達から相談したのでなく行政側からとの認識があり横着であり民間と行政で共助で町づくりを行う姿勢がない。箱を修理するが人と人とのつながりがない計画は長続きしない。税金のムダ使い。市が負担する。対案を示すが検討もしない。指摘を受けアスベストの件は確認書を作成するが不十分でありその他の事項にも文書化されず市民の意見を反映しないままでピオありきと批判されても仕方ない。

議案第58号  
反対討論

中村 一堯議員

商業施設ピオの不動産鑑定には、不審な点が多すぎる。まず、不動産鑑定した会社は国土交通大臣の登録を受けておらず、入札に参加できない。そういった会社が今回の入札に参加することは、鹿島市の財務規則でも「無効の入札」となっている。こういった入札が成立するならば、入札制度そのものが崩壊する。他市町村に与える影響も大きい。しかも、この件を国土交通省に切報告していない。この入札に関しては、市長も副市長も事務の不手際があったと認めている。その上、刑法にも触れる恐れがあるので私はこの議案に反対する。

議案第58号  
賛成討論

竹下 勇議員

今回提案された財産の取得価格は、不動産鑑定評価に基づき算定された単価と、鹿島市の占有する面積から算定されていた。不動産鑑定評価書にあったアスベスト使用による算定価格の減額問題は、専門家を含む鹿島市の調査及び検査の結果、飛散の危険があるレベル1の使用は認められず、レベル3相当の成形建材(ボード)の使用があったものの、今回の改修に合わせ撤去し、「通常の工事費より経費が増加する場合は、組合(ピオ)が負担する、組合が工事する部分も撤去改修することを確認書の形で確認した」という報告があり、価格に問題がないと認め賛成の判断をした。

議案第58号  
賛成討論

角田 一美議員

ピオ財産の取得について  
不動産鑑定士が報告した評価額はアスベスト材の使用や撤去の確認が出来なかった為その影響額は算入されていないが、専門家による調査・分析の結果、飛散の恐れがあり危険なアスベスト吹付材や含有材の使用はなく、飛散の恐れがない成形材が一部確認されたことから安心安全確保の為、今回の改修時に売主の負担で完全撤去する確認書が交わされており財産取得額は妥当である。  
少子高齢化、人口減少による街づくりとして国が進める「コンパクトシティ」構想に添って、市街地の活性化を図ることは鹿島市にとって非常に重要な事業であり、議案第58号に賛成する。

議案第58号  
賛成討論

稲富 雅和議員

財産の取得について  
ピオの周りには、中心市街地を維持する為に、必要な機能が集約して中心市街地の活性化の拠点施設として盛り上げていきたいと思っている。既存店舗を集約し空き室に、高齢者支援施設や子育て支援施設を整備する事によって、周辺商店街との相互連携を図ることにより、交流人口の拡大空き店舗の解消、商店街の活性化につながると確信している。国の先導的モデルでもありかつ市民の思いをさらにつむいで新たな思い出、物語を提供することにもなる。この施設を使える物に出来れば全国で取り上げられるモデルとなり鹿島に足を運んでもらうきっかけが作られる。

議案第58号  
賛成討論

松本末治議員

財産の取得について  
中心市街地の活性化「鹿島の顔」あつてこそ鹿島市産業振興に繋がる。二次産業「農業漁業」中心地域で、鹿島市の再生を考える。鑑定業務、アスベスト撤去は適正に実施される計画、併せて、鹿島商工会議所、鹿島市中心商店街連合会より「鹿島市のまちづくりに関する要望」で、「鹿島ユニティ構想」は、長年の念願であった佐賀県南西部地区での中核都市の位置付け、「鹿島市シンビックセンター再整備構想」は、失われつつある中心市街地の機能回復と中心商店街活性化に重要な構想である。これら要望を踏まえこの案に賛成する。

討論

報告

平成24年度 鹿島市水道事業会計決算認定について

去る9月12日の本会議において、本委員会に付託されました議案第43号、平成24年度鹿島市水道事業会計決算認定については、9月17日、多良岳オレンジ海道配水管新設工事の説明を受け現地調査を行いました。

9月18日には、議案第43号、平成24年度鹿島市水道事業決算認定について、慎重に審査を行いました。

まず、植松代表監査委員より、決算審査の意見書に基づく監査報告があり、審査の方法、審査の結果、事業の概要、予算及び決算、経営成績、財政状況の説明があり、平成24年度鹿島市水道事業会計決算については、財政状況や経営成績等から見て、堅実な経営がなされているとの報告がありました。

その後委員より質疑があり、供給単価は減少しているのに給水原価が増加している原因は、水道事業の工事費やテレメーター装置購入の落札率は、活性化施設への給水管布設全体事業の見積りは、ダム使用権の取得に係る企業債の借入残高は、水道管の布設替は、等々多くの質疑があり、質疑終了後、討論、採決の結果全員賛成で原案のとおり認定することに決せられました。

決算審査特別委員長 橋爪 敏

# 一般質問

## 市民の生命とくらしを守る市政 実現のために市税は市民の為に



松尾 征子 議員

**質問一** 佐賀県一高い国保税に市民は悲鳴をあげている。理屈ぬきに税の引き下げが急がれる。五千万円もあれば1世帯一百万円の引き下げが出来ると。一般財源から繰り入れて直ちに引き下げること。

**答弁** 引き下げ、言葉としては耳ざわりがいいが、これまでの関係者の努力に又赤字の道を開く事になる。理解はしている。制度の問題で鹿島市

だけでは始末がつかないと思う。市の限られた財政の中で、国保を始末せるといのは大変難しい選択。

**質問二** 高齢者社会が急速に進んでいる。一人暮らしの方が安心して暮らせるケア付き高齢者住宅の建設を。

**答弁** 公営で造るということでなく民間との相談をしながらはならない。

**質問三** 住宅リフォーム制度は市民は勿論業者からも喜ばれた。経済効果も14億円と言われる。来年度も制度の継続を。

**答弁** 来年度の予算については、予算編成の中で今から検討することになる。

**質問四** 生活保護制度改善により月一二、八九一円の引き下げ総額十五万二六四〇円となる。市独自の援助を。



橋爪 敏 議員

**質問一** 樋口市政就任後の成果と今後の取り組みは、また、来年四月の市長選への考えは。

**答弁** 外部との連携、鹿島への注目度、子供達にほんもの経験、社会資本の整備、学校の耐震化、スポーツ合宿、六次産業化等へ取り組んだ。就任から3年半、経験して来たことを存分に発揮して来たが、解決すべき課題は多く残されている。市民の許しがあれば、解決に向けて引き続き取り組みたい。特に高速道路網の整備、鹿島の資源を生かした経済政策、高齢者の知恵を生かせるまちづくり等に全力投球したい。

## 市政運営の成果と 今後の取り組みについて

### イノシシ対策について

**質問二** 最近イノシシによる農作物の被害が多くなっているが、どのような対策をされているのか、また、鳥獣被害防止特措法に基づいて、現在の捕獲報奨金に1頭当たり八千円を上積みできるとなっているが、上積してもらえるのか。

**答弁** えさと隠れ場をなくす牛の放牧、ワイヤメッシュ、電気柵等の設置に対する助成、捕獲報奨金の支給(駆除期間1頭当たり1万円、狩猟期間1頭当たり五千円)に駆除期間1頭当たり八千円を上積する。狩猟期間については、広域対策協議会の中で検討したい。

### TPP(環太平洋連携協定)について

**質問三** TPPについては、年内妥協の可能性は、



## 中心市街地活性化策



福井 正 議員

**質問一** 「肥前鹿島駅及び駅前整備と中心市街地活性化」政府の中心市街地活性化策として、郊外型から、中心市街地へ政策転換された。鹿島市のニューデール構想も、政府のリノベーション事業である。中心市街地活性化の取り組みは、中心商店街連合会や地域住民により、以前から議論されてきたが実現しなかった。まず肥前鹿島駅・駅前整備がどうなるか中心市街地のコンセプトはどのようなものか駅舎は新築か改築か・駅トイレ整備が先行しているが、駅舎の中に設置するのか、駅改札や物産販売所をどうするのか。

**答弁** 鹿島駅トイレは、現在の場所でのバリアフリートイレとして整備する。駅舎は今後JR九州と協議していく。駅舎整備予算は全国的に9割以上が自治体負担となっている。駅前整備はワークショップでの検討をしていく、今後利用者や通勤客地元の見聞を聞いていく。駐車場は市営駐車場の短時間無料化を検討する。中心市街地のコンセプトとして、11年3月の基本計画に基づき専門性・歴史・先進性・安全性・歴史・指摘があり、豊かなコミュニケーションがある市街地として整備することを考えている。

**質問二** 「道路整備」現在都市計画が更新されようとしている。計画にあたって実現性と利便性、市街地の活性化を考慮した計画が必要だと思う。幅が狭く道路整備が必要な市道乙丸一吹上線整備を

どのように考えているか。また鹿島駅一組知線は207バイパスと鹿島駅を結び駅の活用と市街地活性化につながると思うが、これらの市道についてどの様な考えか。

**答弁** 乙丸一吹上線は、1m数百万の予算がかかる為整備困難であるが、新町と高津原間の整備について今後検討する。鹿島駅一組知線はバイパスまでか現状の計画か検討が必要だと思ふ。

## 鹿島市の活性化について



水頭 喜弘 議員

**質問一** 市長は市政運営の原点となる標語として「新風創造」「連携と発掘」を掲げ、政策に①「市民目線の発想」②「総力結集のアイデア」③「連携と競争による地域力向上」④「歴史・伝統は先祖の埋蔵金」という柱を掲げ、就任されてから3年半を迎えられた。「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を実現していきたいと述べられているが、市長自身としてはどのような総括をなされているのか。

**答弁** 現時点の感想を述べれば●行政改革については計画通りに進んでい

強くなっているが、妥協した場合の対応は。

**答弁** 鹿島らしいものづくりや農産品づくりなど、農業政策の展開が必要である。産地の表示とか植物防疫上の問題があるが、何があっても障害が避けられるような対策が必要である。これから10年でTPP、新幹線問題、諫早干拓、沿岸道路、オリンピックなど、経済的な地盤変動が予想される。正確な情報の分析と自己の経営判断に責任が持てるような人材の育成が必要である。市も一緒に担って行く。

る。●文化・スポーツ活動は盛んに活動してある。①自主財源が伸び悩んでいる。②閉塞感を打破しないといけない。③市外との連携を頑張らないといけない。④経済政策・産業政策の創意工夫が必要。道路についての対応が遅れている。高速交通網に力を入れないといけない。

**質問二** 公共下水道の見直しについては進められているがいつごろになったら議会に説明できるのか。

**答弁** 公共下水道の見直し計画については基本計画の都市計画設定を26年3月までには完了しようとして進めている。議会への説明は12月にはできるのでは。

### ジェネリック医薬品の利用促進について

**質問三** 後発医薬品とも言われ先発医薬品とも変



一般質問

市民の足を守る対策について



角田 一美 議員

市内循環バス・乗り合いタクシーの利用実態

質問一 循環バス、乗り合いタクシーとも運行開始後3年経過しているが乗客は1台平均1人と非常に少ない。どのような改善対策をとっているのか。

答弁 循環バスについては、午前中2便、午後1便を増便して1日9便で運行したい。乗り合いタクシーについては、一定区間で、どこでもフリー降車できるように10月から改善することとしている。

拡大を望む声があるがでないのか。

答弁 路線バスとの連携ができるようJA能古見支所前迄は延長したい。他地区については、もう少し慎重に検討していきたい。

国道444号線しあわせ街道を生かしたまちづくりについて

質問三 地域が抱える課題についての対策を懇話会、協議会等で議論する考えはないのか。

答弁 これまでの中山間地域直接支払制度の活用に加え昨年度から各集落地域間で話し合い「人・農地プラン」を市内6地域で策定して頂いた。この両制度で対応できる。

質問四 各地域で経済活動が生まれ活性化の起爆剤になるよう地域ぐるみで取り組む地域活動センターを組織化し地域おこし協力隊の支援等に取り組む考えはないのか。

答弁 オレンジ街道に設置予定の地域活性化センターを全地域で活用して頂きたい。中庭ダム付近対策事業の年画変更で充分対応できる。



鹿島ニューデイル政策について その3



中西 裕司 議員

質問一 東京オリンピック、パラリンピックの2020開催が決定し「お・も・て・な・し」の気持ちで市民生活の向上安定に努めるのが市政の発展につながる。かしましを愛する市民有志の会(代表森田泰三郎)から議会議員との意見交換会の申し入れがあり市民と議会の関係を決めた議会基本条例の趣旨を踏まえその試金石になる事から会合に出席する。

(仮)新世紀センターについては県との協議が充分か。県の出先機関が残るかどうかがまだ未定。県の組織編成の検討はこれからで結論が正式に決定していない。その状況で

どのように対応しているのか。

答弁 県との協議は引き続き行ない計画遂行する。

質問二 中心市街地の活性化はない。ピオの役割の横柄な態度は商店街とは合わない。連携することはない。飾り言葉であり過去協力して行事等行なわれた実績はない。ピオありきでピオだけ。ピオ救済でしかない。

答弁 中心商店街も含め協力を続ける。

質問三 不動産鑑定評価会社の資格は無効では。福岡県知事登録ではなく国交省の大臣登録が必要。市に提出の指名参加願では2県以上に営業所支店が開設されている。支店の信用性がない。なぜ指名したのか。以前指名停止の処分も受けている。説明責任がない。

第一次産業の今後について



稲富 雅和 議員

質問一 生産者に出来る努力として海底耕運、七浦地区では、漁場の変更、行政にして頂けるのは、今回の塩田川の事業等である。この事業においては、のり生産にどのような結果が出るか期待するところ、今議会での知事答弁の中で年数は関係なく悪い所は工事をやっていくと答弁されて、安心したところである。

行政にしか出来ない事があるなかで、国、県が強く、要望する事も出来ないが、鹿島市としての動きがあればお聞きする。

答弁 期限が決まっている中で、毎日、期限が経過している今は、ギリギリ

安全・安心のまちづくりについて

質問二 高齢者の事故が多いまちであり、運転免許保有者は県内66才以上は、年齢別に約7000人で、65才以下から28才までの世代は、年齢別に一万人を超える保有者となっていて、数年後は65才以上は一万人以上の保有者になり、高齢者の事故率が高いので、この現状もふまえ、徹底したキャンペーンや学習が必



鹿島市ニューデイル構想 中心市街地への公的施設再整備について



竹下 勇 議員

質問一 国では「教育行政改革会議」を立ち上げ、教育委員会制度の見直しが進められているが、教育長の権限と責任や教育委員会(5人の合議制)との関係はどうなるか。現在教育委員会は、行政機関から独立した組織で行政に影響を受けないが、教育長を市長が任命及び罷免することで、行政の意向が強く反映されないか。又、学校週6日制の検討が本格化してきたが、学校週6日制について鹿島市では、どのような検討がすすんでいるか。その土曜日を利用して、道徳教育の充実を図れないか。

答弁 教育行政の責任者は、教育長となりその権限と責任は重くなり、教育委

広場及び駅舎について計画が進められている。トイレの改修は来年度。全体構想が先では。その前にJR九州、県との協議は。第3セクター化を前提にして状況を判断する。それがないと通常の改築でしかない。七つ星の登場により長崎本線も脚光をあびる。浜駅も重要な位置になる。条件をつめる事が重要でありその対応を。

答弁 トイレが先行するが市民も意見反映できるようにしたい。



参加、物づくりに焦点をあてる、子供たちに夢を持たせるをキーワードとし予算総額500万円程度で、平成26年10月20日から26日に集中的に実施する。具体的には、記念式典、NHKの公開放送、産業まつり、市民提案への支援等多くの事業を計画している。

一般質問

意見書第4号

# 地方税財源の充実確保を求める意見書

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

## 1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

- (1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
- (2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
- (3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。
- (4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
- (5) 地方公務員給与の引下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。

## 2. 地方税源の充実確保等について

- (1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5：5」とすること。  
その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。
- (2) 個人住民税は、その充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。
- (3) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。  
特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。
- (4) 法人住民税は、均等割の税率を確保すること。
- (5) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。
- (6) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年9月27日

佐賀県鹿島市議会

## 鹿島市の人口維持と活性化方策



松本末治 議員

**質問一** 「長寿日本」二〇一二年女性平均86・41歳、世界一返り咲き。平均寿命と健康寿命の差が約10年有る。健康寿命の差を半分の5年に縮めたら、どれくらい社会保障費の抑制につながるか。市民が健康寿命を延ばすよう意識しながら生活する意識改革に取り組めば。

**答弁** 試算はできないが、厚生労働省は、平成37年に向け予防健康管理により五兆円の効果を考え二〇二〇年までに健康寿命を一歳以上上げることで、医療費の抑制効果、介護費の抑制による社会保障費の抑制を考えている。

**質問二** 過疎化（限界集落）対策 コンパクトシティ枠外周辺地域で買い物難民は顕著に現れるものだと考える。近くのスーパーは撤退し移転する現在、過去には大部落の真ん中であつたストアも、コンビニ営業の為に、地域での模索もされたが営業面から、地区外、市外の交通量の多い場所、新しいコンビニストアを営業されることになった。この様な地域状況をどの様に捉えられているか。

**答弁** 高齢化社会、買い物難民も増えている。七浦振興会では、千菜市号の宅配販売車をもうけた対応もされている。

### 鹿島市における今後の産業振興

**質問三** 鹿島市内では、居住地を飛び越えて「猪家族が、浜干拓に住まいを構えている。」ニュー

スもある。当局はどう捉えられているか。

**答弁** 浜東部と浜干拓の境の浜東部土地改良区所有の原野化した所に生存している模様。猟友会にお願いして「ワナ」を仕掛けています。

**質問四** 治水について、この頃はゲリラ豪雨と言われるように、時間降水量一〇〇ミリの大雨が降る。河川が氾濫し土地改良区域内に流水し排水路から排水機場へ導き排水機稼動により水害の回避策をとれないか。

**答弁** 農地浸水被害防止であり現在は考えられない。



▲かしま伝承芸能フェスティバル(9月8日)



▲鹿島小学校運動会(9月29日)



▲蔵々まつり(10月27日)



▲ほとめきまつり(10月27日)

# 鹿島市議会平成25年度議会報告会報告

今回の議会報告会は、議会側から、平成25年度予算の中で、主要な事業について報告いたしました。また各地区に関係がある事業についてもご報告いたしました。その後参加者の皆様と意見交換を行い、貴重なご意見をいただき感謝いたしております。

### 日程と会場

#### ●7月27日

浜公民館  
参加議員 松尾勝 松尾征 福井 伊東 勝屋  
地区からの参加者 11名  
北鹿島公民館  
参加議員 水頭 橋爪 光武 竹下 中村  
地区からの参加者 9名

#### ●7月28日

鹿島公民館  
参加議員 松尾勝 松尾征 福井 伊東 勝屋  
地区からの参加者 38名  
能古見公民館  
参加議員 松本 中西 徳村 竹下 中村  
地区からの参加者 17名

#### ●8月3日

七浦公民館  
参加議員 水頭 橋爪 光武 竹下 中村  
地区からの参加者 14名

#### ●8月4日

古枝公民館  
参加議員 松本 中西 徳村 竹下 中村  
地区からの参加者 13名  
地区からの参加者計102名

### アンケート調査結果

アンケートに84名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。

### 1.報告会会場についての希望

6地区での開催 43名  
2か所での開催 19名  
1か所 10名  
3か所 1名  
集落でしてほしい 1名  
その他のご意見  
畳でなく椅子席にしてほしい  
開始時間について6名の方から、19時30分か20時にしてほしいとのご意見がありました。

### 2.開催日時

よかった 44名  
替えてほしい平日に29名

### 3.開催時間

ほとんどの方が今のままでよいと答えられています。  
今回の議会報告会は、議会側から、平成25年度予算の中で、主要な事業について報告いたしました。また各地区に関係がある事業についてもご報告いたしました。その後参加者の皆様と意見交換を行い、貴重なご意見をいただき感謝いたしております。

### 4.その他のご意見・質問

- 議会報告会に関するご意見として
- 参加者が少ない、参加者を増やす工夫をしてほしい
  - 地元議員の参加を増やしてほしい
  - 若者が集まる工夫をしてほしい
  - 参加者は行政等に期待している人だと思う
  - 意見の回答を後日回答してほしい
  - 質疑応答は充実していた
  - 要望が多かった
  - 議会として何を聞きたいか説明がほしい
  - 地域密着のことも議題にしてほしい
  - 議員発言や参加者の質問が参考になった
  - 議員の重複意見が多かった
  - 議員との意見交換で行政の動きがわかる気がした

- 独りよがりの演説はいらない
  - 年1回の開催は少ない
  - 議員の発言が長い
  - 今回は資料があつてよかった
  - 他地区の人が多かった
  - 資料提示説明と質疑への答弁がよかった
- ### 市民交流プラザに関して
- 市民交流プラザに、賭けない・飲まないマージャン倶楽部を
  - ピオは借りるより買ったほうがよい
  - ニューディール構想が可決したが、執行部に充実した説明を尽くしながら事業を進めてほしいと議会から要望してほしい
  - 鹿島市は中古物件でなく新築を
  - ピオ移転について、賛成議員に対する質問が主で、市事業に対する質問がほとんどなかった
- ### そのほかのご意見
- 議会便りを過去2回ほしい
  - 議会で決定したら早急に実行してほしい
  - 農業問題に今後も取り組んでほしい
  - 古枝の定住促進住宅の入居者数は
  - 地域の実情を把握してほしい
  - 代案が出せる提案力を磨いてほしい
  - 鹿島駅の改札口の階段を復活してほしい
  - オレンジロードは必要だったのか
  - 農業後継者問題に取り組んでほしい
  - 政治活動費について知らせてほしい
  - 議会便りはよくできていると感じるが、もっと充実してほしい
  - 研修は近くの市町村を見てほしい
  - 中山間地整備は人口減少の現状では無駄なのでは

以上のご意見がありました、今後の議会活動の参考とさせていただきます。



鹿島公民館



北鹿島公民館



浜公民館



七浦公民館



能古見公民館



古枝公民館

## 消防団本部役員との意見交換会

参加者 消防団本部団長・副団長、地区分団長6名  
総務建設環境委員会7名、市役所総務課4名

消防組織法の規定に基づき、市内各地で服務に従事する消防団の現状と各地区が抱える問題点を把握するために開催した。

### 【本部・各分団の意見と要望】

団員確保が難しい。市消防団は9割以上がサラリーマンである。消防団活動には会社の直属上司の理解と団員勧誘には区からの協力が不可欠である。昭和45、46年当時、面積、世帯数の案分率で団員数が決定されていた。鹿島市の定数は782人。面積の広い七浦、能古見地区は定数が200人を超え、団員確保と団員の高齢化は問題である。介護施設への避難訓練も協力するが、平日は団員確保に苦慮する。車両の老朽化と立地条件が悪い場所がある。

### 【議員と本部役員の見解】

各分団の抱える問題は理解できた。全地区に共通する団員の確保については、全市を挙げて対策を講じる必要があ

る。機能別消防、自主防災組織は命令系統がスムーズに行えるのか不安な面がある。消防団と区長との連携が必要。危険時における避難指示が出た場合は速やかに逃げてほしい。自主防災組織の市内全地区の早期結成を目指し、機能と役割を明文化した規約が必要。都心部では女性の入団が増えている。トイレ設置の要望、リヤカー積載の問題など議会で取り上げ議論していく。



## 建設業協会との意見交換会

参加者 建設業協会役員6名、総務建設環境委員会7名

公共工事、民間による設備投資が厳しい現状を踏まえ、現行の入札制度・工事発注に関わる問題点を把握するため開催した。

### 【本部・各分団の意見と要望】

建設業法により公共工事を行う業者は経営事項審査を受講するように決めてある。審査の受講費用は20万円以上必要で、等級を下げないために企業努力を行っている。しかし、C級以下(級外)の工事受注者に審査を受けていない業者がいる。建設業組合員は級外も審査を受けている。不公平感を質し、行政は指導を徹底してほしい。

入札においては最低価格制度の導入をお願いしたい。県内では鹿島市と神崎市のみ制度がない。予定価格とは「仕事ができる価格」、最低価格はそれ以下を意味する。市は業者を育成する立場にあると考える。また、入札書様式の簡素化もお願いしたい。

### 【議員の見解】

指名願受付時、級外は経営事項審査について指導となっている。今後、委員会でも調査する。落札価格の低い工事については現地調査を検討したい。最低価格制度は現在、行政も検討中であり、もう少し時間が必要である。災害時の精力的な協力支援には感謝している。建設業に限らず企業の体力には限界がある。改善策を議論していく。



# 議会あれこれ

(平成25年7月～9月)

## 【7月】

- 9日 鹿島ニューディール構想調査特別委員協議会
- 10日 鹿島市消防団本部役員と総務建設環境委員との意見交換会
- 11日 議会だより編集委員会
- 23日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 24日～26日 佐賀県市議会議長会先進都市視察研修
- 27日 議会報告会(浜地区)  
議会報告会(北鹿島地区)
- 28日 議会報告会(鹿島地区)  
議会報告会(能古見地区)
- 30日 知事・市町議会議長懇話会・懇談会
- 31日 文教厚生産業委員と執行部との意見交換会

## 【8月】

- 2日 佐賀県市議会議長会議員研修会・交流会
- 3日 議会報告会(七浦地区)
- 3日～6日 マッドリンピック訪韓
- 4日 議会報告会(古枝地区)
- 7日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会  
先進地視察
- 10日 第50回鹿島おどり参加
- 19日 議会運営委員会
- 21日 総務建設環境委員と執行部の勉強会
- 23日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 28日 全員協議会
- 29日 建設業界と総務建設環境委員との意見交換会

## 【9月】

- 4日 議会運営委員会
- 6日 9月定例会 開会  
全員協議会

- 12日 議案審議
- 13日 議案審議
- 17日 総務建設環境委員協議会  
決算審査特別委員会(水道事業会計)現地視察
- 18日 決算審査特別委員会(水道事業会計)審査  
全員協議会
- 19日 文教厚生産業委員会
- 20日 9月定例会一般質問
- 24日 9月定例会一般質問
- 25日 9月定例会一般質問  
総務建設環境委員協議会
- 27日 全員協議会  
9月定例会議案審議、委員長報告、採決、閉会

## 行政視察受入状況 (平成25年7月～9月)

7月 2日

福岡県古賀市議会議会運営委員会等行政視察

8月26日

青森県弘前市議会会派行政視察

8月28日

宮城県登米市議会会派行政視察

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	7月		8月		9月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	2	6000	0	0	2	6,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	2	8,000	0	0	0	0	2	8,000
会費	1	4,000	1	6000	0	0	2	10,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	4,320	0	0	0	0	1	4,320
合計	4	16,320	3	12,000	0	0	7	28,320

## 編集後記

台風26号による、伊豆大島の土石流では多数の方が亡くなられ、また行方不明とられました。お悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、鹿島市でも十分な備えと、早めの避難の必要などを改めて思いました。

今回の議会は、ニューディール構想の市民プラザ(仮称)に関する質問や意見が多数ありました。この紙面ですれぞれの議員の考えが表せたと思いません。

これから寒い季節に向かいます。風邪などひかぬようご用心ください。

【編集委員】委員長 福井 正

副委員長 水頭 喜弘

委員 勝屋 弘貞

顧問 松本 未治

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

